

出雲商工会議所管内 業種別景況（平成31年1月～3月期）

《全業種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年1月～3月期)と比べた 今期(平成31年1月～3月期)の状況				前期(平成30年10月～12月期)と比べた 今期(平成31年1月～3月期)の状況				今期(平成31年1月～3月期)と比べた 来期(平成31年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	40.7	39.0	20.3	20.3	28.8	28.8	42.4	△ 13.6	27.1	47.5	25.4	1.7
2 採算	25.4	52.5	22.0	3.4	20.3	54.2	25.4	△ 5.1	8.6	67.2	24.1	△ 15.5
3 仕入単価	29.3	70.7	0.0	29.3	28.1	68.4	3.5	24.6	33.3	64.9	1.8	31.6
4 従業員数					7.0	82.5	10.5	△ 3.5	8.9	83.9	7.1	1.8
5 資金繰り					7.1	78.6	14.3	△ 7.1	8.8	77.2	14.0	△ 5.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		31.0	48.3	20.7		10.3		36.2	53.4		12.1	24.1		1.7

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	25.4	6.3	6.3	38.1	8 設備店舗の狭小・老朽化	14.3	6.3	12.7	33.3
2 大企業進出による競争激化	4.8	7.9	1.6	14.3	9 取引条件の悪化	0.0	1.6	4.8	6.3
3 製品・商品単価の下落	1.6	6.3	1.6	9.5	10 事業資金の確保難	4.8	7.9	3.2	15.9
4 原材料高及び不足	4.8	6.3	9.5	20.6	11 需要の停滞	6.3	7.9	12.7	27.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	4.8	0.0	4.8	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	22.2	7.9	11.1	41.3	13 その他	4.8	4.8	0.0	9.5
7 人件費の増加	1.6	9.5	4.8	15.9	無回答	9.5	22.2	31.7	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

## 《製造業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年1月～3月期)と比べた 今期(平成31年1月～3月期)の状況				前期(平成30年10月～12月期)と比べた 今期(平成31年1月～3月期)の状況				今期(平成31年1月～3月期)と比べた 来期(平成31年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	37.5	37.5	25.0	12.5
2 採算	12.5	37.5	50.0	△ 37.5	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	25.0	50.0	25.0	0.0
3 仕入単価	12.5	87.5	0.0	12.5	12.5	87.5	0.0	12.5	50.0	50.0	0.0	50.0
4 従業員数					12.5	75.0	12.5	0.0	0.0	75.0	25.0	△ 25.0
5 資金繰り					0.0	75.0	25.0	△ 25.0	25.0	75.0	0.0	25.0

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		0.0	87.5	12.5		△ 12.5		12.5	75.0		12.5	0.0		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	33.3	0.0	0.0	33.3	8 設備店舗の狭小・老朽化	11.1	11.1	22.2	44.4
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	22.2	22.2
3 製品・商品単価の下落	0.0	11.1	0.0	11.1	10 事業資金の確保難	11.1	0.0	0.0	11.1
4 原材料高及び不足	22.2	11.1	0.0	33.3	11 需要の停滞	0.0	22.2	11.1	33.3
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	11.1	11.1	0.0	22.2	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	0.0	11.1	22.2	33.3	無回答	11.1	22.2	22.2	-

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 人材育成のための経費 (初期投資) と雇用維持の為の人件費を上げようとする中、現状、商品価格はそう簡単に上げられないため、企業の工夫がますます大事となる。
- ・ 人手不足、パート賃金の上昇により雇用難。消費税アップにより受注減少が予想される。
- ・ 求人募集中であるが、なかなか応募がない。売ることもしないといけないが、人手不足の悩みもあり、難しい。

## 《建設業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成30年1月～3月期）と比べた 今期（平成31年1月～3月期）の状況				前期（平成30年10月～12月期）と比べた 今期（平成31年1月～3月期）の状況				今期（平成31年1月～3月期）と比べた 来期（平成31年4月～6月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	75.0	25.0	0.0	75.0	50.0	12.5	37.5	12.5	50.0	37.5	12.5	37.5
2 採算	62.5	25.0	12.5	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	12.5	62.5	25.0	△ 12.5
3 仕入単価	28.6	71.4	0.0	28.6	42.9	57.1	0.0	42.9	57.1	42.9	0.0	57.1
4 従業員数					37.5	50.0	12.5	25.0	25.0	75.0	0.0	25.0
5 資金繰り					28.6	57.1	14.3	14.3	12.5	75.0	12.5	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		75.0	12.5	12.5		62.5		62.5	25.0		12.5	50.0		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	25.0	0.0	0.0	25.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	12.5	12.5
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	12.5	0.0	12.5
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	12.5	12.5	25.0
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	25.0	25.0	11 需要の停滞	0.0	12.5	0.0	12.5
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	62.5	12.5	12.5	87.5	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	12.5	25.0	12.5	50.0	無回答	0.0	25.0	25.0	-

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 業界の高年齢化と若手の成り手不足が大きな問題となっている。若手の確保と育成に重点を置いている。
- ・ 増税前の仕事増での職人不足。増税後の落ち込みを懸念している。
- ・ 施工する大工、板金、左官の人員不足（外注先）

## 《卸・小売業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成30年1月～3月期）と比べた 今期（平成31年1月～3月期）の状況				前期（平成30年10月～12月期）と比べた 今期（平成31年1月～3月期）の状況				今期（平成31年1月～3月期）と比べた 来期（平成31年4月～6月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	47.1	23.5	29.4	17.6	35.3	23.5	41.2	△ 5.9	23.5	47.1	29.4	△ 5.9
2 採算	23.5	58.8	17.6	5.9	23.5	52.9	23.5	0.0	0.0	68.8	31.3	△ 31.3
3 仕入単価	29.4	70.6	0.0	29.4	37.5	62.5	0.0	37.5	18.8	81.3	0.0	18.8
4 従業員数	/	/	/	/	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り	/	/	/	/	6.3	87.5	6.3	0.0	0.0	81.3	18.8	△ 18.8

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		18.8	50.0	31.3		-12.5		17.6	76.5		5.9	11.8		6.3

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	30.0	15.0	5.0	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	5.0	5.0	15.0	25.0
2 大企業進出による競争激化	10.0	5.0	0.0	15.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	5.0	15.0	5.0	25.0	10 事業資金の確保難	10.0	5.0	5.0	20.0
4 原材料高及び不足	5.0	5.0	0.0	10.0	11 需要の停滞	10.0	0.0	20.0	30.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	10.0	0.0	10.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	5.0	5.0	20.0	30.0	13 その他	5.0	5.0	0.0	10.0
7 人件費の増加	0.0	10.0	0.0	10.0	無回答	15.0	20.0	30.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 材料費の値上げ分を商品に価格転嫁できず、人件費は増加、建物、機器の老朽化と不安材料が多いのが現状。
- ・ ネット通販による競争激化。メーカー自体も通販に力を入れている余波が小売店にも様々にきている。
- ・ 購買者の高齢化による今後の部数減への対応。若者の新聞離れ。

## 《サービス業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成30年1月～3月期）と比べた 今期（平成31年1月～3月期）の状況				前期（平成30年10月～12月期）と比べた 今期（平成31年1月～3月期）の状況				今期（平成31年1月～3月期）と比べた 来期（平成31年4月～6月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	21.4	57.1	21.4	0.0	28.6	35.7	35.7	△ 7.1	21.4	50.0	28.6	△ 7.1
2 採算	21.4	57.1	21.4	0.0	21.4	50.0	28.6	△ 7.1	7.1	71.4	21.4	△ 14.3
3 仕入単価	14.3	85.7	0.0	14.3	7.1	92.9	0.0	7.1	21.4	78.6	0.0	21.4
4 従業員数	/	/	/	/	0.0	78.6	21.4	△ 21.4	21.4	78.6	0.0	21.4
5 資金繰り	/	/	/	/	7.1	71.4	21.4	△ 14.3	14.3	64.3	21.4	△ 7.1

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		28.6	57.1	14.3		14.3		50.0	28.6		21.4	28.6		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	21.4	0.0	14.3	35.7	8 設備店舗の狭小・老朽化	21.4	7.1	7.1	35.7
2 大企業進出による競争激化	7.1	21.4	7.1	35.7	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	7.1	7.1
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	14.3	0.0	14.3
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	0.0	0.0	11 需要の停滞	7.1	0.0	7.1	14.3
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	7.1	0.0	7.1	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	14.3	7.1	14.3	35.7	13 その他	14.3	14.3	0.0	28.6
7 人件費の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	無回答	14.3	28.6	42.9	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 同業者（同規模）間の競争の激化
- ・ AI化による競争力の激化
- ・ 3月は観光客が少なかったが、ゴールデンウィークが長いためか？

## 《 飲 食 業 》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年1月～3月期)と比べた 今期(平成31年1月～3月期)の状況				前期(平成30年10月～12月期)と比べた 今期(平成31年1月～3月期)の状況				今期(平成31年1月～3月期)と比べた 来期(平成31年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	41.7	50.0	8.3	33.3	8.3	33.3	58.3	△ 50.0	16.7	58.3	25.0	△ 8.3
2 採 算	16.7	66.7	16.7	0.0	8.3	75.0	16.7	△ 8.3	8.3	75.0	16.7	△ 8.3
3 仕 入 単 価	58.3	41.7	0.0	58.3	41.7	41.7	16.7	25.0	41.7	50.0	8.3	33.3
4 従 業 員 数	/	/	/	/	0.0	90.9	9.1	△ 9.1	0.0	81.8	18.2	△ 18.2
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	0.0	90.9	9.1	△ 9.1	0.0	90.9	9.1	△ 9.1

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		41.7	33.3	25.0		16.7		41.7	50.0		8.3	33.3		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	16.7	8.3	8.3	33.3	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	33.3	8.3	8.3	50.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	8.3	0.0	8.3	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	16.7	33.3	50.0	11 需 要 の 停 滞	8.3	16.7	16.7	41.7
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	41.7	8.3	0.0	50.0	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	8.3	0.0	8.3	無 回 答	0.0	16.7	33.3	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 人員確保できず、宴会を受けられないこともあった。
- ・ レジやキャッシュレス決済についての対応についてどのようにすれば良いか検討を進めていきたい。
- ・ PayPayを導入するお店が増えている。